

留学生と語り合う No.54

RKK ニュース (2014年新年号)

NPO 法人 留学生と語り合う会(RKK) Relationship and Kindness are the Kings of peace

魅惑の日本文化を体験しよう

—Let's experience fascinating JAPANESE CULTURE—

【RKK 初の文化祭開催】

(The first RKK Cultural Festival was held)

ファミリー交流グループ



11月17日、RKKファミリー交流グループ主催で文化祭を初めて、留学生およびその家族約15人、日本人30余人の参加を得て、かながわ県民センター2階のかながわ国際ファンクラブで開催しました。

茶道コーナーでは着物姿の会員がお茶をたて、日本茶道の真髄を味わうことができました。

書道コーナーでは筆を初めて持った人が多く、各人の名前を漢字で書きその意味を聞いて楽しみました。

囲碁、将棋は留学生にとって難しい面もありますが、その奥深い世界の一端を垣間見ることができました。

折り紙では1枚の紙から、また繰り取りでは1本の糸から色々なものを作ることができ、その不思議さと面白さを体験しました。

似顔絵も実物そっくりに書いてもらい良い記念に。

会場は熱気に包まれ、日本人も留学生も一緒にな

ってそれぞれの催しものを賑やかに楽しむことができました。

RKKでは今後とも身近な日本の伝統文化を紹介すべく文化祭などの各種催し

物を行っていく予定です。(徳屋 記)



17th, Nov. 2013, RKK Family Koryu Group hosted RKK Japanese Cultural Festival at Kanagawa International Fan Club in Kanagawa Kenmin Center 2nd floor. International students and their families (about 15 persons) and Japanese participants (more than 30 persons) visited.

At Japanese TEA CEREMONY corner RKK members who were wearing Kimono hosted the guests and guests experienced Japanese TEA CEREMONY's essence.

At Japanese CALLIGRAPHY corner, most guests from foreign countries wrote their names by Kanji using ink brush for the first time and enjoyed the meaning of the Kanji which they wrote.

IGO and SHOGI are difficult games for International students in some cases, they can experience the deep world of IGO and SHOGI.

ORIGAMI and AYATORI showed their wonder of making various things from just one paper (ORIGAMI) or one rope (AYATORI).

As commemorative gifts, participants had their portrait drawn.

The festival site had hot and good mood, foreigners and Japanese enjoyed each events all together.

RKK has plans having cultural events to introduce Japanese traditional culture existing around daily life in Japan.

Written by Mr. Tokuya (Translated by Kazumi Aoki)



第5回 日本語指導カプラシユアッ講習会

日時：2014年2月11日(火・祝) 13:30~16:30

会場：かながわ県民センター 304号室(3F)

講師：河島ゆりか 先生

内容：中上級学習者指導のために知っておくべきこと

申込先 (e-mail) sakura_tudekei@ybb.ne.jp (津田)

(fax.) 045-316-5220 (岩科)



私の文化交流

反省会で指揮者や合唱団の皆様と遭遇し再感激！

中国語学習グループの鈴木次男さんの呼びかけで、RKKの恒例行事になってきたコンサートの鑑賞に、留学生や会員の皆さんと一緒に参加しました。今回は、昨年10月27日（日）に、紅葉ヶ丘にある神奈川県立音楽堂で開催された「ヴェルディ生誕200年：横響650回記念演奏会」です。

参加者は、陳莉莉（杏林大学）さん、李方（陳莉莉さんの友人）さん、王広波（横国大学院）さん、劉進志（東大博士コース）さん、大田理事長、村田さん、鈴木さんでした。

当日はヴェルディ生誕200年にちなんで、ヴェルディの歌劇「椿姫」の前奏曲と、同じくヴェルディの感動的な教会音楽「レクイエム」が演奏されました。

特にレクイエムは、横響の管弦楽団と4人の独唱（ソプラノ・メゾソプラノ・テノール・バス）、更に舞台後部がしばしば埋め尽くされるほどの男女の合唱団で構成され、熱がこもった迫力満点の演奏でした。一般の管弦楽では聴くことができない独唱や合唱団の歌声に、あいにく言葉が分かりませんでした。しかしコンサートは初めての体験という劉進志さんはもとより、留学生の皆さんも大変満足された様子でした。

コンサートの余韻に浸りながら、桜木町駅近くの居酒屋に立ち寄り反省会の小酌で氣勢を上げていたところ、隣の席に当日の指揮者の飛永悠佑輝氏ご夫妻と、友情出演された横浜国大グリーククラブOB合唱団のご一行がお見えになり、幸いにも皆様と歓談することができました。

さらに、飛永ご夫妻と一緒に記念撮影をお願いしたところ快く応じて頂き、思わぬ幸運に全員大感激でした。想定外の“おまけ（Bonus）”に遭遇しラッキー（Lucky）！& ハッピー（Happy）！な鑑賞会になりました。

このような幸運に恵まれたのは、きっと当日参加の皆さんの日ごろの心がけが良かったものと思われませんが、今後も鈴木さんやRKKニュースなどで案内があると思いますので、興味がある方は是非、ご参加ください。（北地区交流会 山口 記）



トピックス

KANAFAN交流会2013に参加！

昨年の11月25日に、みなとみらい地区のJICA横浜で、かながわ国際ファンクラブ主催のKANAFAN交流会が開かれ、留学生、研修生、関連団体など約150人が参加し、黒岩知事も挨拶に来られた盛大なイベントでした。RKKからは大田理事長と萩原が参加いたしました。（萩原 記）



【黒岩知事と共に】



新入会員のみなさまへ：よろしくお願います！

入会正会員： 石村文鏡（戸塚区）（敬称略）

留学生からのたより



国境を越え留学生に支援するRKK

横浜国立大学大学院環境情報学府 陳海鋒 (中国)

RKKの皆様、新年明けましておめでとうございます。いつもRKKの皆さんのお世話になり、心から感謝しております。

人生は自転車に乗るようなもので、後には進めず前に進むしかありません。

今朝、目覚めると、もう2014年になっております。

今思えば、RKKとの先生と出会ったのは一年半前です。横浜国立大学留学生会館のドアに貼っていた「ボランティアの日本語個人指導を受けてみませんか」というポスターを見て、応募してみようかなと思ったのが、RKKとの絆を結んだ最初でした。



私の日本語指導の羽川先生は、毎週土曜日、留学生会館の会談室に生まれ、新聞【羽川先生との記念写真】

と一緒に読んだり、日本の学校の教科書を使って教えてくれたり、見学会も一緒に参加したりして、大変お世話になっています。

そうして、2013年の一年は、とても充実した留学生活を送ることができたと思っております。

ところで、先日、「RKKのような留学生支援の団体に対し、留学生の立場から、主にどのようなことを望みますか」と深水先生に聞かれました。RKKは留学生に対し、日本語指導、工場見学会内、ファミリー交流、中国留学生を先生にした中国語の勉強会等を行っています。留学生は、その価値観や望んでいることがそれぞれ違いますし、来日中の滞在期間も異なるので、私としては、現在の授業方式による学生に応じて異なった個人指導が一番よいのではないかと思っております。また、RKKの先生は生活面でも、職業面でも、豊富な経験を持っていますので、日本での経験が少ない留学生に対して、「魚の釣り方」を教えるような、国境を越えた経験を受け継ぎが出来れば、留学生の将来の人生の道場で活用できるだろうかと思います。

さらに、日本の学生と留学生を集まって、一緒に勉強会や討論会を行ったりすれば、様々な文化の交流を促進できるし、将来、国際関係の深める基礎を築けることになると思います。(原文のまま)

留学生活の様々

横浜国立大学大学院 張興偉 (中国)



2011年の秋、真っ青な空で、金木犀の香りが漂う美しい季節に、横浜国立大学大学院に入学しました。2年



3ヶ月の生活を振り返って、いろいろな感慨が浮かんできました。

日本で生活するのは初めてのため、最初は困ったことが沢山ありました。日本語がよくできなくて、区役所の登録手続や、携帯電話と銀行口座の開設、買い物、学校の手続など、日常生活の様々な場面で下手な日本語でチャレンジしてきました。特に、授業に出ても、先生の講義がよく分からなくて、とても辛かったです。その後、留学生センターの日本語授業に出て、RKKのボランティア先生の日本語指導を頂き、日本語も少しずつ上が

ってきました。一番困難な時期を乗り越えて、取得した日本語力が、将来の仕事や研究活動にも役に立って思っています。

留学期間中の嬉しかったことは沢山あります。鎌倉や箱根などの名所への旅行、友達から誘われて太陽光発電システムの組立見学、お正月料理の作り体験がありました。その他、RKKの工場見学の参加、ヒップファミリーのホームステイ、ボランティア先生のお宅訪問などを経験させて頂きました。このような体験を通して、日本人及び日本社会に対する理解が少しずつ深くなりました。留学生同士も友達が出来ました。

一方、残念なこともあります。最初は日本語がうまく話せなくて、自信もあまりなかったので、同世代の日本人との交流やコミュニケーションすることができなくて、ちょっと惜しいこととなりました。せっかく日本で何年間も生活するチャンスがあるのに、同世代の人々と交流することがあまりできなくてとても残念だと思います。今現在ちょうど日中の政治関係が悪化している時期で、同世代の日本人が中国に関して何を思っているでしょうか？日中関係をどうすればよいのでしょうか？その他、いろいろな話題についてなるべく多くの日本人の方と話し合いたいです。今こそ日中の民間交流やコミュニケーションを大切にすべき時期です。両国の関係改善することがとても大事だと私は思っております。

若く内に、日本に留学できて、本当に良かったです。辛かったことも、嬉しかったことも、様々な体験によって留学生活の素晴らしさを感じました。これからできるだけ多くの日本人の友達を作り、もっと楽しい思い出を作れるように頑張ります。(原文のまま)

It has been a long time !!!

(お久しぶりです !!!)

Msoma Peter Shabani

Oct.19th,2013 メール



Dear Sensei,

I doing fine. How is Japan? It has been a long time since we contacted each other.

I got married and we got a baby boy. Now he is one year old. Currently, I am working with SMEC company a consulting company and I am situated in Mozambique for the time being.

I think every thing is going well there despite the typhons strike in Japan. Thats all for today, Please send my regards to RKK-Family, I do miss your Company so much.

I wish you a good day. (原文のまま)

Regards

* Eng. Msoma P. S. Asst. Bridge Engineer Smec International PTY Ltd

* 元横浜国立大学 I M P 留学生 (タンザニア出身)



日本語を学んで、広がった世界

杏林大学大学院国際協力研究科 陳 莉莉

私が日本語を勉強し始めてからすでに6年以上が経ちました。簡単ですが、私の経歴を紹介いたします。



私は大学時代に中国の広東外国語大学で日本語を専攻して以来、日本へ留学することがずっと夢でした。ようやく大学4年生になって、杏林大学の日中通訳翻訳特設コースの交換留学生として来日する機会に恵まれました。

そのためには、中国の大学の卒業を一年間延ばさなければなりませんでした。

しかし、日本での一年間は多くの人たちとの出会いにあふれ、日本語力もさらに磨かれ、チャレンジに値する一年になりました。また、研究にも大きく惹かれるものがあつたため、

大学を卒業後は再び杏林大学院の門を叩き、国際言語コミュニケーションを専攻するようになりました。現在は日中通訳分野の研究を進めています。

それでは、私自身が日本語を勉強する上で会得したものを分かち合いたいと思います。

これまで多くのことを学びましたが、ここでは大事なことを一点だけお伝えさせていただきます。日本語を勉強する上で一番大事なものは50%以上のインプットがあれば、アウトプットも自然に上達するということです。インプットとは、いわゆるリスニングのことで、アウトプットとは単直に言えば外国語で話すということです。これは私自身の経験だけでなく、第二言語習得法を研究していらっしゃる学者たちの研究成果でも示されています。大学2年生の時に初めて日本人と日本語をしゃべるチャンスを得たとき、あまりにも嬉しかったので、つたない日本語でもその人としゃべりたい、もっと深い話をしたい、親しい友達になりたいと強く思うようになりました。そして、一人になったときは、日本語音声を通してに、わからない単語があれば調べたり、単語帳を作ったりして勉強しました。

そうしているうちに、だんだんインプットの効果が強く感じるようになりました。例えば、毎回日本人の友達と会う前に、話したいトピックを考えて、使えそうな単語を調べて行きます。しかし、友達からどんな返事をされるかは予想できないので、注意深くその場で聞いて、分からなくても日本語で話してもらうように努力しました。このような努力を半年続けたら、次第に耳が日本語に慣れてきて、日本語の感覚が養われるようになりました。そうすると、次第にアウトプットにあたる会話力も向上してきて、無意識に日本語での会話ができるようになりました。

日本に留学できたお陰で、東京という国際的舞台で日本語を勉強する機会をたくさん持つことができました。東京では多くの国の人々に会うことができ、日本語だけでなく英語や中国語でコミュニケーションをする機会を楽しくしているうちに、自分の世界観や価値観も変わりました。本当にすばらしい経験をさせていただいて、留学中に知り合った日本人の友人と日本語をきっかけに出会ったすべての人々に心から感謝しています。(原文のまま)



日本語スピーチ大会

第9回 日本語スピーチ大会交流会の開催

日本語指導グループ

RKKは第9回の日本語スピーチ大会を昨年11月17日(日)、神奈川県民活動センターにおいて開催しました。今回は外国人留学生を中心に7人のスピーカーが、勉強した日本語で熱弁を奮い、聴衆者共々、楽しくも有意義なひと時をもちました。スピーカーと発表の内容は下記のとおりです。なお、この日本語スピーチ大会の詳細はHP(草稿集)をご参照ください。

皆さんのスピーチの後、山田光義氏(元横浜国立大学教授)からスピーチそれぞれのポイントや話し方などについて懇切丁寧な講評がありました。

また、スピーチ大会の後、第2部として、スピーカー、外国人を含む聴講の方々と交えた交流会があり、親睦を深めました。スピーチ大会には59人(内、留学生が14人)が参加され、第2部の交流会も多くの方(52人)の参加があり、盛大でした。この日本語スピーチ大会は、外国の珍しい事情に触れる場、留学生と語り合う場などであり、RKKの活動に有意義なものであります。今後共に皆様のご支援をお願いします。スピーチ内容は次のとおり。(布津 記)



【日本語スピーチ大会の状況】



【交流会の様様】

氏名(国籍)	タイトル	概 要
・張 興偉 (中国)	私の見た日本の高齢社会について	日本と中国の高齢化社会の状況について、また、日中友好促進の希望
・Talha Mohamed	母国スーダン	スーダンの歴史、人々の生活、自然などについて
・陳 海鋒 (中国)	中国の結婚文化	中国の伝統的な結婚式の行事(6つのステップがある)
・フェルナンド・ルイス(ブラジル)	日本で作った思い出	日本人の人間関係を習う、ブラジルとの貿易促進の願い
・于 泳 (中国)	日本で生活を始めて	日本の四季のイベント、富士山登山の感動
・関根ヘレン (香港)	好きな人	父の思い出と感謝、ストーリーと話術が印象
・モジ ムクイ (タンザニア)	チップとサービス	チップ問題を通して、日本社会の安全とサービスを語る

日本語指導法講習会

「日本語指導法講習会」を振り返って

日本語指導グループ

毎年、慣例の「日本語指導法講習会」が昨秋も10月5日(土)から12月21日(土)まで、10回の課程で開かれました。今回は受講生が19人と少なめでしたが、反面、熱心な受講者ばかりだったようで、講師への質問が多く、活発でした。新しい試みとして、全員に名札を付けてもらったこともあって、受講生同士が大変に親しくなり、今までになく和気あいあいとした楽しい講習会になったと思います。

その日本語指導法講習会受講の感想を山崎氏よりいただきました。(下記ご参照) (岩科 記)

日本語指導法講習会を受講して

湘南地区交流会 山崎 康啓

「イ形容詞・ナ形容詞」、「て形・た形」、「と・たら」…日本語文法として講師から説明受ける目が大きく開く。初めて聞く話だ、普段こんなこと意識していないので、日本語は難しいなとつくづく認識するに至る。

講習会ではみんなの日本語を中心に授業が進んだ。終わった後で、毎回配布されるプリントのほかに講師から補足のあった関連項目、類似項目、注意事項などを盛り込んだ「まとめ」を作成した。総計41ページの自分用の指導マニュアルが出来た。ところが、実際に指導してみると、知っていることと教えられることは違うと強く認識させられる。

特に、日本語は全くと言っていいほど初めてという外国の人を指導することは、いざやってみるとこれが難しかった。「挨拶、紹介、こそあど・・・」のようにしたら学習者に理解してもらえるか、繰り返し、繰り返し悪戦苦闘。折よく日本語講習会がスタートするので参加申し込んだ。先生から、また参加するのかと聞かれて、「ほとんど日本語は初めての人を対象に自分の頭の中を整理するために再度勉強することにした」と返事。

私が初心者指導に困っているので、今回の教え方にしてくれたのかな？

今回の講習会は以前の講習会よりも一層平易でロールプレイも交えて实际的に教えてくれたので大変参考になった。講師からの「ゆっくり話すこと」、「学習者の発言を待つこと」、「書き言葉と話し言葉の違いをはっきり指導すること」…などの注意が心に残る講習会だった。



私の日本語指導

西地区交流会 下村のり子

初めての留学生に1対1で日本語指導をし始める時、いくら待っても予定の時間に現れない人が、約10年日本語指導をしていて何人もありました。

予定通りの時間に現れなくても、2回目までは私は2時間近くは待つことにしています。海外ではこのような笑い話があるからです。「今日はバスが時刻通りに来たと思っていたら、実は昨日到着する予定のバスだった」。この話から、大陸でのバスは24時間以上走り続けている国があり、そういう国から来日している学生もいるので、気を長くして待つことにしています。3回目、約束の時間に來なかった時、「私は交通費を自分で負担し、貴方のために半日は拘束されている」旨をメールで説明します。この時、私の歳を必ず伝えていきます。

このメールをすると、殆んどの方は休む時や遅れる時は必ず連絡をくれるようになります。

例外は、私が58歳の時65歳の大学の先生に日本語指導をしたのですが、この時だけは、どたキャン癖は治りませんでした。この経験から絶対に私より年上の方には日本語指導してはいけなと思っています。

また、ある留学生の3回目のどたキャン時、私は「きつと寝過ぎている」と思い、電話で起し、服を着替え、朝食を摂って来て下さい」と伝え、来るまで90分、じっと待っていたこともあります。

お国柄やその人の性格も諸々知り、私に日本語を習っている留学生より、教えている私の方が精神的にも図太くなって、どんどん成長しているような気がしています。



社会・工場見学

About RKK Autumn Tour to Ofuna Kannon

(RKKの皆さんと大船観音等秋の散策)

Maria Sol Nakagama Gashu (アルゼンチン) 東京藝術大学



The first time I went by Ofuna Station and I saw the Ofuna Kannon, I fell in love with it and have been wanting to see it up close ever since. However, even when I could have easily gone by myself, I wanted to go with someone able to explain me the meaning of that huge and beautiful statue that so quickly called my eye.



Finally, eight I found out about a volunteer group called RKK organizing a tour to that exact place. Visiting the caves (that I didn't even know existed) was a huge plus to me.

Even when not all members speak English, their willingness to make themselves understood is enough to understand each other (speaking a mix of English, Japanese signs and even Spanish). I recommend to all foreigners to come to this type of tour, you will meet incredible people there.



Visiting this type of places makes me realized that Japan might have been very isolated as an island, but in the last decades has evolved really quickly, and against popular thought, I believe Japan changes all the time and, sometimes, really fast. I wonder if Japanese people themselves realize that.

I loved the caves so much that I didn't tell my family much about them, so I could take them whenever they come to visit me. If you haven't been there yet, it's definitely a must. I will only say that the caves were carved into the limestone hill by meditating Buddhist monks between 1200 and 1700.

Later we visited the 25-meter Ofuna Kannon. It was begun in 1929 as a prayer for world peace but work was suspended in 1934 due to the outbreak of war. It was later completed in 1960. In the small hall inside the statue (entry at the back) is an eternal flame taken from the fire that ensued after the 1945 nuclear attack on Hiroshima. Further to reclaiming its world peace aspirations, the temple features stones from ground zero in both the Hiroshima and Nagasaki atomic bombings.



I am very thankful to RKK for this opportunity, and I'm looking forward the next tour!

Arigatou gozaimashita. (原文のまま)

【Sol Nakagama さん見学感想文の要旨】 大船観音をはじめて見学し、その美しさ、大きさに惹かれました。大船観音や非常に昔、仏教修行僧によってつくられた田谷の洞窟を訪ねて、日本が島国で隔てられていたこと、そして、日本がその後非常に発展したことなどを思い浮かべました。家族や外国人も連れて行きたいと思います。特に、大船観音には、その内部に原爆被害の広島から来た仏像があり、また、寺院には広島、長崎で原爆を受けた石が用いられ、これらは世界平和を祈念するための事であることを知りました。

同行の皆さんとは、言葉の関係でなかなかコミュニケーションを取ることが難しいところもありましたが、英語、日本語、スペイン語等をミックスしながら、少しは理解することができました。

RKKの皆様には、このような機会をつくっていただきましたことを感謝します。次回の見学にもぜひ、参加したいと思います。(見学G 深水 記)

【社会・工場見学グループ報告】 昨秋11月9日に「田谷の洞窟(定泉寺)」、「大船観音」を巡り、参加者19人(内留学生5人)が留学生共々秋の散策を楽しみました。上記のSol Nakagama さんの見学記には、私共も改めて考えさせられる見どころが捉えられているようです。

もりながせいか つるみこうじょう だいほんざんそうじじ けんがく
森永製菓(鶴見工場)、大本山總持寺の見学

横浜商科大学 郭 曉玲



今日は、朝から太陽が輝いて春のように暖かくハイキングに非常に向いた日でした。
 皆さんは朝9時15分に鶴見駅に集まり、初対面ながらも次第に意気投合し、歩きながらお互



いに交流し、森永製菓鶴見工場を見学に行きました。森永製菓といえば、最初に思い出すのは大人気なキョロちゃんで、その優しき親切な笑顔です。工場では、まず映像を用いた解説を聞きました。会話をはさみながらの説明は、終始和やかな雰囲気に入れ込みました。今まで知らなかった森永製品の歴史や製造過程を詳しく知ることができ、いよいよ次に迫った工場内への見学に、皆さんは更に期待を膨らませていたようでした。そして、2つの見学を主に、親切なお姉さんのご案内で、「DARS」と「小椋」を作る工場にそれぞれお邪魔しました。工場に入る際、エアシャワーなどを参加者自身が体験しながら、その衛生管理の徹底ぶりに驚きながらも、さすが真面目な国だと感心していました。工場内ではライン見学や試食などを通じて、小さなチコロレット1つを作るのに想像以上に様々な工夫や工程を経ていることを目の前で実感しました。そのご苦労を肌と感じ、みんなが様々な充実した時間を過ごせたようでした。



お昼間時、みんな一緒に中華店で食事しながら、森永製菓鶴見工場の感想を分かち合って過ごしました。* (笑) 食べ物が美味しいですよ。

午後、曹洞宗大本山總持寺を見学しました。8万坪の寺院には、大雄宝殿をはじめ多くの国の登録文化財を有し、国際的な禅の根本道場として偉容を誇っているそうです。

すごく有名なお寺です。大本山總持寺と言ったら、160メートルの廊下を紹介しないわけにはいきません。ピカピカに光った廊下は修行僧の汗の賜物です。修行僧が毎日午前と午後2回の拭き掃除を一气に行うそうです。案内者としての修行僧が朝食前の暮らしの様子などを紹介しながら、大本山を案内してくれました。みんなが興味を深くなりますよ。午前4時ぐらいの明け前、まだ静寂の中のお寺が目覚めようとする時間です。修行僧が寒いうちに、座禅を始めます。午前6時朝の鐘の音とともに山内の清掃がはじまり、その後読経が入り、読経を通じて心が浄化されていくようです。午前7時半ぐらいに朝食を取ります。すくないの？今、良く朝寝坊をした我々に対して、僧たちに学んで、自分自身が修行すべきかなと反省しました。



今日はRKKの皆さんのおかげで、楽しく充実した一日を過ごしました。ボランティアとしての皆さんが我々留学生たちのために、力を出して我々に助けてくださることを心から感謝し尊敬します。ほんとに、素晴らしい組織だと思います。これからも、いろいろお世話になります。どうもありがとうございました。(原文のまま)

【社会・工場見学グループ報告】 クリスマスイブの12月24日に森永製菓と總持寺を、参加者20人(内留学生11人)留学生の申し込みがいつになく多く(急用で不参加もありましたが)、留学生共々、楽しく見学しました。見学の状況は上記に郭 曉玲さんが目に見えるように詳しく書かれ、見学の実感が湧きます。

トピックス

よこはまこくつりだいがく winter party かいらい
横浜国立大学ウインターパーティ開催

横浜国立大学恒例の留学生会館ウインターパーティは12月13日(金)夕方、弘明寺の留学生会館で行なわれました。パーティは館長の小林教授、留学生指導の藤井教授採配の元に関かれ、会場の同会館談話室には溢れんばかりの各国からの留学生が集まり、賑やかにお互いの懇親を深めていました。パーティには異国交際の関係者、各地区ロータリークラブ、RKKからは南地区の布津さん、古谷さんと大田が出席、交流を深めました。(大田 記)



私の中国語学習

私の中国語学習

＜RKKとの出会い、細く長くても話せるように＞

中国語学習グループ 橋山規子

私が中国語と親しみ始めたのは十数年前、市の広報を通して、ある会館で開催されている『留学生による中国語講座』の存在を知り、「やってみようかな」と軽い気持ちで応募した単純な動機からでした。そこで、RKKの会員の方に遭遇し、RKKに『中国語学習グループ』があることを聞き、講座終了後、早速RKKに入室し『中国語学習』に参加しました。

高校時代、「漢詩」を朗詠された漢文の先生を思い浮かべ、あの時は「よかったなあ」、これからは「楽しみだなあ」と。

でも、初期、現実とは違いました。先生のお話は聞き取ること（聴解）ができません。自分で読む中国語は「発音」の基礎力不足で『おかしな中国語』になってしまっていたように思います。中国語は「発音」が難しいと多くの方が口をそろえます。私もそうでした。漢字は簡体字がとっても親しめました。

『中国語学習』のグループのみなさんが誰でも受け止めていこうとしてくださる雰囲気助けられています。十数年の間、出席したり欠席したりの繰り返し、中国語の上達には程遠いのですが、細く長く継続できて、中国語に触れる楽しさを実感しています。

そして、個性豊かな会員の指導に力を注いでくださる老師に感謝して。



トピックス

こっけい げいしんれんかんかい きんか 國慶&迎新聯歡會に参加

恒例の國慶節と合わせて新人歓迎會が、2013年10月31日、中国留学生学友会（横浜国立大学）によって、開催されました。参加の来賓は、RKKをはじめ4団体・自治体でした。我がRKKの大田理事長からRKKの留学生支援のスタンス等を含めた挨拶がされました。会場（大学生協内）の大きさにそぐわないほどの大型の日中兩國の国旗を交差掲揚し、萬会長はじめ、学友会の皆さんは「日中友好ムード」の盛り上げに力を入れ、日中友好ムード一杯でした。特に、陳海鋒副会長はRKKに親身にサポートしてくれています。歓迎會は留学生の参加が多く、料理はアツという間もなく完食の状態でした。懇談と共に胡弓の演奏もありました。（深水 記）



会員募集中 【活動の見学・体験 大歓迎】

- ・正会員：RKK活動にご興味をお持ちの人には「入会の手引き」・会報や最近の行事案内などをお送りします。詳しくはRKKホームページをご参照下さい。
- ・賛助会員：RKK事業の趣旨に賛同され、賛助金として一口（年額一口 1,000円）以上をご提供いただけます、RKKニュースを定期的にお送りします。
- ・郵便振替口座記号番号：00290-2-140517、 加入者名：「留学生と語り合う会」
活動にご興味をお持ちの方には「入会の手引き」・会報や最近の行事案内などをお送りしますので、RKK連絡先（最終ページに記載）にご一報願います

委員会報告

RKKニュースのメール送付について

広報委員会

RKK広報委員会では、RKKニュースを会員と留学生へのメール配信を進めています（メール受信可能者のみ）。経費支出額の最も多いニュースの発行経費（特に、送料）の削減を図ります。昨今、情報のメール配信の環境が整い、メール配信が普及しています。さらに、メール配信によって、配信（広報）の拡大（元留学生等への配信）が期待できます。ついては、53号ニュースを試験的にメール配信し、会員の皆様にニュースのメール配信についてアンケート（2回実施一初回の未回答者もあり、その意思確認のために再度実施）しました。

その2回目の結果は下記とおりです。

- ・メール受信可能者数 87人 【会員総数 100人】（アンケート実施時）
- ・アンケート回答者数 58人 （内）メール配信可 51人、メール配信不可 7人（冊子体希望）
- ・未回答者数 29人 （注）アンケート時に未回答者はメール配信可とした。（深水 記）

日本語指導とマッチング状況（2013.4～2013.12）

会員委員会

今年度4～12月において、この期間におけるマッチング成立は、58件となりました。12月23日現在、留学生82人、社会人11人、計93人を57人の会員が指導しております。1チューターが平均1.63人を教えている計算になり、チューターに負荷の増加傾向が見られます。同時点で、マッチング待ちの指導希望者は4人。9月時点とは逆に指導者不足が心配されます。

次号では、前任の岩永氏から頂いた2010年度～2012年度の統計データに2013年度を加え、ここ4年間の傾向をご報告したいと思っております。（矢野 記）

おもな活動(2013/11～2014/1)まで

理事会

◇12/23 かながわ県民センターにて、2013年度第2回定例理事会が開かれ、2013年の目立った成果として、より一層充実した日本語スピーチ大会、価値ある情報をスピーディに掲載しているホームページそして新たに企画したRKK文化祭があげられることを確認した。

スタッフミーティング

◇12/23 午後、神奈川県民センターR711にて23人のスタッフの参加のもと、2013年度に3回スタッフミーティングが行われ活動グループ、地区交流会、委員会それぞれからの報告・連絡そして相談事項について話し合った。ディスカッションタイムには「日本人会員の募集活動（リクルート）」についての情報の共有化と意見交換がなされ、今後の活躍が期待された。

活動グループ

- ◇日本語指導G：11/17の日本語スピーチ大会には7人の発表のもと総勢60人が参加した。第18回日本語指導法講習会は19人の受講生のもと12月21日に無事終了。
- ◇ファミリー交流G：11/17にKANAFAN STATIONにて初めてのRKK文化祭を実施し約40人が参加。
- ◇中国語学習G：女性陣の参加が増え、活性化。新年から新たな期に入る。
- ◇社会・工場見学G：12/24 森永製菓、總持寺を見学。20人が参加。

地区交流会

- ◇東地区：スタッフの強化を検討中。1月に交流会を予定。
- ◇西地区：12/1に会員向け第2回パソコン勉強会を実施し大好評。恒例の交流会は10/26に開催した。
- ◇南地区：11/4地区交流会を実施。日本語指導希望の留学生が急増し日本人会員とのバランスを調整中。
- ◇北地区：10/26留学生を交えた会食形式の交流会を実施。
- ◇中央地区：横国大峰沢寮にて留学生のリクルートを推進。
- ◇湘南地区：12/10に交流会を藤沢にて実施。地区会員12人中11人が参加。



委員会

- ◇会員委員会：新任スタッフを加え 12/23 マッチング検討会を実施。
- ◇広報委員会：RKK ニュース 54 号の編集作業およびメール配信への移行推進。HP の更新。
- ◇企画委員会：寄付・賛助金の取り扱い。
- ◇会計委員会：1/21 決算検討会を実施。
- ◇事務室：理事会・スタッフミーティングの開催。



RKKホームページに「会員のひろば」オープン！

「会員のひろば」を通じて留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画など趣味の情報交換にも利用できます。会員限定のページです。掲載希望の会員はメッセージをRKK広報委員会スタッフにお知らせください。

[投稿先メールアドレス: sugita1526@ybb.ne.jp](mailto:sugita1526@ybb.ne.jp)

掲載ホームページアドレス: <http://homepage3.nifty.com/rkk/>

地区からの便り

RKK湘南地区交流会報告

湘南地区交流会

RKK湘南地区交流会には、毎回10人～11人（会員数は12人）と多くが参加され、日本語指導を中心に互いの活動状況、トピックスや問題点等話し合い、指導や活動の参考にしております。本年は4回（2月、5月、9月、12月）開催しました。

皆様が披露された指導・活動中のトピックス（12月交流会一写真）は、例えば、日本語個人指導状況の参観があり、会話中心の和気あいあいの指導が気に入り、再度の参観希望があったこと、日本語スピーチ大会に参加したヘレンさん（香港）への指導エピソード、・ヘンな？日本語のために、日本人とのコミュニケーションがうまくいかないケース、日本語指導法講習会で日本語初心者向けの指導方法が特に参考になったとの感想、その他、日本語指導のいろいろなエピソードが紹介されました。さらに、地区スタッフより学習希望者の入会申込み、指導願い、非留学生の会費納入等の仕組みの詳細を周知されたこと（湘南地区は留学生が少なく、非留学生への指導が相対的に多く、手続きが複雑）等々。ちなみに、湘南地区交流会では14人（留学生：6人、非留学生：8人／12月現在）に日本語指導をしています。（深水 記）



留学生の皆さんへ／For International Students

Volunteer にほんごこじんしどう ぼう

ボランティアの日本語個人指導を受けてみませんか！

RKKは下記の日本語指導（Japanese Language Tutoring）を行なっています。

- ・日常会話（Daily Conversation） ・ビジネス会話（Business Conversation）
- ・卒論、レポートの文書指導（Writing Japanese Thesis & Report）
- ・新聞／書籍等の読解（Reading Newspaper & Books）

その他に、工場見学／社会体験 ・留学生との交流イベント等を開催しています。

詳しくは、Home Page(Web Site) [RKK NPO](#) で検索してください。

よこはま夢ファンドのご案内

横浜市には、ボランティア団体の活動支援を目的とした“よこはま夢ファンド”の制度があることをご存知でしょうか。本ファンドへの寄付を通じてRKKの活動を支援して頂けます。ご協力をお願いします。

詳細は、[よこはま夢ファンド](#) で検索してください。

(企画委員会)



とつかお結び広場に初参加

12月1日(日)とつか区民活動センター(東戸塚駅前)主催の第4回「とつかお結び広場(ボランティア祭り)」が、戸塚区役所で開催されました。



参加団体は149団体でRKKは初めて参加しました。日曜で天気に恵まれ、駅直結の区新庁舎という便利さもあって大勢の来場者で賑わっていました。会場は区庁舎2、3階と、駅と庁舎を結ぶ連絡路も使って行われましたが、イベント特設ステージがRKK展示ブース傍に設けられ、最初に区長の開会挨拶の後、小学生の太鼓や民族衣装を着た小・中学生による舞踊などが披露されていました。

来訪者のうち5、6人からは熱心な質問があり、RKKニュースや入会の手引き他の資料も20部ほど持帰られました。子供連れの方も多く、出展ブースのスタンプラリーなどに興じていました。

今回は8月初めに、たまたまセンターに寄り、センター情報紙を眺めたところ「出展団体・個人募集中！」のお知らせが目に入りました。会員リクルートにいい機会なので、早速、西地区交流会スタッフ、事務局スタッフに参加検討を呼びかけ送りました。ちなみに、以前から大田理事長にはニュース発行毎に区民活動センターに持参していただいています。また前回、西地区交流会(7/28)の中で行ったパソコン勉強・相談会が好評で、次回開催の要望が望まれていましたが、会場確保が困難でした。たまたま12/1午後空いたため急遽、西地区第2回パソコン勉強・相談会を行うことがその後になりました。そのため地区交流会スタッフ3人のうち2人と会員委員会スタッフの私3人で事前打合せを行い、出展内容、説明会出席や事務室に協力していただき、展示ポスター取りまとめなどの分担を決め進めることにしました。

当日は説明員も3人交代では手薄なので、さらに3人の方をお願いし来訪会員1人にもお手伝いいただき、7人で対応し無事終了しました。その他、パソコン勉強会がない午前中には、理事長の他6、7人の会員や旧会員も訪れました。(会員委員会 池添 記)



NPO法人 留学生と語り合う会 (RKK)

連絡先：〒245-0008 横浜市泉区弥生台9-1-12-407 萩原 敦

Eメール：rkk1025office@yahoo.co.jp; Tel & Fax: 045-813-8327

ホームページ：<http://homepage3.nifty.com/rkk/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKKニュース編集：RKK広報委員会(新年号担当) 深水智明 Jan. 30, 2014